



武蔵村山市議会議員 あまめいし 要一郎

腐敗 STOP 通信 2023 年 秋

天目石要一郎後援会 208-0013 武蔵村山市大南 4-21-31 エステート大南公園 3-503

電話・FAX042-564-2550 メール amame1968@yahoo.co.jp

ホストタウン交流事業の相手先、ウランバートル市ハンオール区に、モンゴルを旅した折に行ってみました。行ってびっくり！例えると、モンゴルの渋谷か原宿みたいな場所でした。たしか、20年ほど前に行った時は、荒地ばかりの場所だったような。見違えました。

雨水及び泥状分析結果②

建物屋上雨樋堆積物（泥状）中の金属等元素のEF値

Li	Na	Mg	Al	K	Ca	V	Cr	Mn
1.90	N.C.	2.49	1.00	0.357	0.332	1.75	24.5	1.55
Fe	Co	Ni	Cu	Zn	Ga	As	Se	Rb
2.51	4.33	8.97	61.5	105	1.50	3.98	42.7	0.585
Sr	Y	Mo	Cd	In	Sn	Sb	Cs	Ba
1.82	5.45	20.0	17.2	35.6	21.2	518	N.C.	5.81
La	Ce	Gd	Pt	Tl	Pb	Bi		
3.38	1.98	2.59	N.C.	N.C.	N.C.	88.5		

比留間運送伊奈平工場の隣接地で採取した土壌を、東京農工大環境毒性学研究室で分析した結果です。

毒性の強い多くの元素で汚染されていることが明らかにになりました。

ダイエー横の産廃工場の土壌分析の結果、強毒性元素が！

市民から深刻なばい煙被害が寄せられる、ダイエー横の比留間運送の焼却場問題。そんな被害者の方たちの窮状に、東京農工大環境毒性学研究室が、貴重な研究費を使って土壌分析をしてくれました。その結果、多くの強毒性金属元素で汚染されていることがわかりました。

上記のデータは、比留間運送伊奈平工場の隣接地の土壌分析の結果です。金属元素の汚染度合いはEF値で表します。40以上が「非常に強い汚染」、20～40は「強い汚染」、5～20は「明らかな汚染」と読み取ります。

強毒性元素でEF値が高かったものは、ヒ素に似た毒性のアンチモン(Sb)の518。過剰摂取で多くの症状を引き起こす亜鉛(Zn)が105。足尾銅山鉱毒事件などの銅(Cu)が61.5。過剰摂取で中毒を起こすセレン(Se)が42.7。六価クロム公害のクロム(Cr)が24.5。イタイイタイ病のカドミウム(Cd)が17.2などでした。これらより幾分毒性が弱いとはいえ、中枢神経障害の事例があるビスマス(Bi)は88.5。健康障害防止の指針が出ているインジウム(In)も35.6です。ただ、今回は、金属元素だけの分析結果です。これらの金属元素が、より毒性の強い化合物に化学変化しているおそれがあります。今後、より詳細な分析が必要です。また、どのぐらいのエリアが汚染されているのか？加えて市民の健康被害調査も必要です。

長年、ごみ収集業務を比留間運送らと随意契約しているせいなのか？これまで、市は、市民が被害を訴えても現地を見に来ることがあるぐらいでした。また、私が資料を集めた上で比留間運送のばい煙被害を議会で質問すると、口汚いやじを飛ばして、議事を妨害する議員もいました。比留間運送は木原誠二前官房副長官や、井上信二元環境副大臣への政治献金をしています。「彼らにも何か渡っているのか？」と勘ぐりたくなります。

いずれにしろ、比留間運送伊奈平工場周辺が、強毒性の金属元素によって汚染されていることが明らかになりました。これからは、市は比留間運送の経営より、市民の健康や安心安全な住環境を第一に考えるように、大きく方向転換するべきです。

今後、専門家やジャーナリストによる調査や追及が深まります。方向転換しないと、これまでの市の対応について、責任が問われます。